

第 49 回通常総会および第 18 回年次学術講演会

昭和 38 年度土木学会通常総会（第 49 回）および第 18 回年次学術講演会はずきのとおり行なわれることになりましたので、多数ご参加下さいますようご案内いたします。

1. 通常総会：5 月 24 日（金）14.00～17.00

会 場：京都会館会議場（京都市左京区岡崎最勝寺町） 電話 京都（77）6051

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 議 事：1）昭和 37 年度事業報の告件 | 5）名誉員の推挙 |
| 2）昭和 37 年度決算報告の件 | 6）土木賞の授与 |
| 3）土木学会定款改正の件 | 7）吉田賞および吉田研究奨励会の授与 |
| 4）土木学会規則の改正報告の件 | 8）新任役員（理事）の紹介 |

会長講演：土木学会会長 工博 藤井松太郎

2. 総合講演：5 月 25 日（土）9.00～12.00 京都大学（法経第 4 教室）

題目および講師

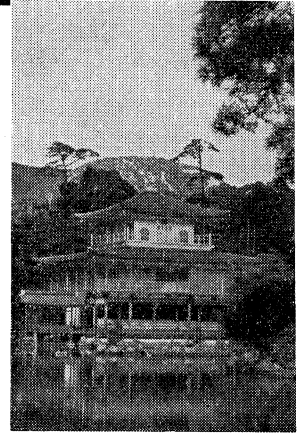
- | | | |
|-------------------------------|------------------|----------|
| 9.00～9.30 ①名神高速道路の建設について | 日本道路公団高速道路大阪建設局長 | 高橋敏五郎 |
| 9.30～10.00 ②神戸の埋立と宅地造成の事業について | 神戸市埋立事業局長 | 宗宮 義正 |
| 10.00～10.30 ③全国総合開発計画について | 経済企画庁総合計画局長 | 経博 大来佐武郎 |
| 10.30～11.00 ④揚水式発電について | 関西電力株式会社建設部長 | 工博 吉田 登 |
| 11.00～11.30 ⑤淀川水系の水質保全について | 京都大学工学部教授 | 工博 岩井 重久 |
| 11.30～12.00 ⑥史跡保存と建設事業 | 奈良国立文化財研究所文部技官 | 坪井 清足 |

3. 年次学術講演会：5 月 25 日（土）13.00～17.00 } 京都大学（教養部本館） 26 日（日）9.00～17.00 }

4. 懇 談 会：5 月 25 日（土）18.00～19.30 京都国際ホテル（京都市中京区油小路二条下ル）

5. 見 学 会：5 月 27 日（月）～28 日（火）

注：詳細はプログラムをご覧ください。なお、総合講演会場は法経第 7 教室が第 4 教室に変更になりました。



（京 都 金 閣 寺）

土木学会・その他行事案内

月 日	行 事	備 考
5 月 18 日（土）	第 19 回関東地区学生諸君のための映画会	5 号 5 ページ参照
5 月 18 日（土）	日本工学会講演会・見学会参加者募集	5 号 5 "
5 月 24 日（金）～28 日（火）	第 49 回土木学会通常総会・第 18 回年次学術講演会・懇談会・見学会	プログラム参照
5 月 31 日（金）	第 2 回国際水質汚濁研究会議の論文概要申込締切	5 号 2 ページ参照
6 月 12 日（水）	コンクリート パイル基礎工法講習会（東京会場）	5 号 2 "
6 月 14 日（金）	"（大阪会場）	5 号 2 "
6 月 30 日（日）	空気調和・衛生工学会賞応募締切	5 号 92 "
9 月 2 日（月）～7 日（土）	第 5 回宇宙技術および科学の国際シンポジウム（論文締切 6 月 30 日）	5 号 2 "
9 月 8 日（日）～10 日（火）	第 13 回応用力学連合講演会（申込締切 6 月 8 日）	5 号 4 "
10 月 10 日（木）～11 日（金）	第 7 回材料試験連合講演会（申込締切 7 月 15 日）	5 号 4 "
そ の 他	イギリス水理研究所海外技術者のためのコース開催について	5 号 4 "
	国際水工学コース	5 号 4 "
	技術士本試験の実施について	5 号 5 "
	国家公務員試験期日のお知らせ	5 号 59 "
	第 5 回国際かんがい排水委員会総会開催	5 号 79 "
	第 15 回全国都市計画協議会開催について	5 号 63 "

コンクリート パイル基礎工法講習会

各種土木建築工事にコンクリート パイルが広く、かつ大量に使用されてきております。その施工について一つの基準を与えるため、日本工業規格 (JIS A 7201-1962) (遠心力鉄筋コンクリート クイ打ち作業標準) が制定されました。工業技術院では、これを機会にクイ打ち作業標準に関連した種々の技術的問題を取り上げ、基礎設計やクイ打ち作業等にたずさわる方々を対象に斬界の権威者を講師として、つぎのような講習会を開催することとなりましたので広く関係者の聴講を希望いたしております。なお、聴講料および当日配布されるテキスト代等は一切無料です。

1. 日時・場所：東京会場；1963年6月12日(水) 10.00~16.00 銀座 山葉ホール
大阪会場；1963年6月14日(金) 10.00~16.00 堂島 電気クラブ

2. 演題および講師：

- | | | |
|-------------------|-------------------|---------|
| (1) 日本工業規格 | 工業技術院材料規格課長 | 長 沢 武 |
| (2) クイ打ち作業標準 | 大同コンクリート工業KK 工博 | 綾 亀 一 |
| (3) コンクリート パイルの性質 | 小野田セメントKK中央研究所 工博 | 杉 木 六 郎 |
| (4) クイ基礎 | KK竹中工務店技術研究所 | 遠 藤 正 明 |
| (5) クイ打ち施工 | 首都高速道路公団理事 工博 | 中 島 武 |

第2回国際水質汚濁研究会議の論文概要の公募について

1962年9月3~7日のロンドンにおける第1回の会議について、第2回が1964年8月24日(月)~28日(金)に東京都で開催されることになり、つぎのとおり論文概要を募集しておりますので多数ご応募下さるようご案内いたします。

概要締切：1963年5月31日(金)

概要送付先：東京都新宿区四谷一丁目 土木学会衛生工学委員会 (封筒に「国際水質汚濁会議用」と表記すること)

そ の 他：シンポジウムはつぎの3つにわけて進行されます。

- (1) 淡水河川の自浄作用と汚濁の漁業におよぼす影響 (議長 O. Jaag 教授)
- (2) 下水および産業排水の処理 (議長 J.K. Baars 教授)
- (3) 汚濁の海洋環境におよぼす影響 (議長 E.A. Pearson 教授)

各シンポジウムごとに最大数16編の本論文をとりあげます。これらの論文はあらかじめ公募により集められた欧文(なるべく英文)400~500語(8¹/₂"×11"の用紙にタイプのこと)の論文概要(採択された後に変更しないように題目をつけ、著者名、付属機関、その宛名を記し、研究の目的、動機、方法、結論を簡単に述べること。また論文の内容程度は独創的で斬新、高級でしかも、その地域の代表的なテーマをとり上げたものが望ましい)について、採択委員がその内容を慎重に検討した上、全委員の総意にもとづいて採択し、採択された分は本論文および討議論文として再び提出を願い、これらを予稿として印刷します。これらは会議終了後改めて議事録に採録、公刊されます。なお論文を提出されるときは上記(1),(2),(3)のいずれに該当するかを明記して下さい。

第5回(1963年)宇宙技術および科学の国際 シンポジウム開催について

(Fifth International Symposium on Space Technology and Science, Tokyo, 1963)

標記のシンポジウムが下記のとおり開催されますので、多数ご参加下さるようご案内致します。また研究論文を発表される方は下記要項によりふるってお申込み下さい。

期 日：1963年9月2日(月)~7日(土)

場 所：日本都市センター(東京都千代田区平河町)

論文締切：1963年6月30日(日)

研究論文を発表される場合は、論文題目(英文)および100語程度の英文概要をつけて下さい。発表は英語で行わない、その際スライド、フィルムなどをご使用になる場合はその旨記入して下さい。なお、シンポジウム終了の後

に論文集を刊行する予定ですので 4 000 語以内 (表および図をふくめて) 英文原稿を会期中にご提出いただければ幸いです。

また、会期中会場の一部で展示を行なう予定ですので、写真、フィルム、スライド、模型その他をご出品下さるようご案内致します。

論文提出先：東京都港区麻布新亀土町 10 東京大学生産技術研究所内 斎藤 成文氏あて
第 5 回宇宙技術および科学の国際シンポジウム準備委員会

第 13 回応用力学連合講演会講演募集

申込締切 6 月 8 日 (土)

1. 共 催：日本学術会議力学研究連絡委員会・応用物理学会・造船協会・土木学会・日本機械学会・日本建築学会・日本航空学会・日本数学会・日本物理学会
 2. 幹事学会：日本建築学会 (東京都中央区銀座西 3-1) 電話 535-6511・日本物理学会 (東京都文京区本富士町 東京大学理学部内) 電話 811-5904
 3. 日 時：1963 年 9 月 8 日 (日)～9 月 10 日 (火)
 4. 会 場：東京大学工学部第 2 号館
 5. 申込要領：講演申込みは 1 人 1 題 (登壇は 1 人 1 回にかぎる) とし、参加学会所属の会員は当該学会を通じて申込み、参加学会会員以外の方は直接幹事学会に申込みこと。講演内容はすでに発表されたものでもさしつかえないが、最近の研究に属するものが望ましい。申込みは B 5 版の用紙に横書でつぎの事項を記載すること。
①講演題目 ②概要 200 字以内 ③講演部門および項目名 (プログラム編成の都合上「項目一下記参照一」も必ず記載して下さい。④講演者ならびに連名者 (協力者) おのおのの氏名 (連名で講演する場合は登壇者に○印をつけること)。勤務先、通信先、学会員資格、生年 (西歴) ⑤スライド (35 mm に限る) の有無
注：1) 講演時間は 1 題目 15 分の予定、映画は設備の関係上使用できません。
2) 講演お申込みの際は付記をご覧下さい。
 6. 講演部門および項目：(第 1 部) 項目：弾性学・塑性学・構造力学・材料力学・土の力学など、(第 2 部) 項目：流体力学・空気力学・水力学・水理学・気象学・潤滑など、(第 3 部) 項目：熱・熱力学・熱伝達・燃焼など、(第 4 部) 項目：一般力学・振動・波動・応用数学・自動制御・計算機など
 7. 申込期日：6 月 8 日 (土) 所属学会必着
 8. 論文抄録集：聴講者用のテキストとして、論文抄録集を作ります。講演者は内容のわかる抄録原稿をつくり、所属学会または講演申込学会へ下記により必ず期日までに原稿を提出して下さい。
①論文抄録 (原稿) 提出期日 7 月 1 日 (月)、②必ず所定の原稿用紙を用いる。用紙は所属学会から講演申込者に送付します。学術以外の用紙に書いたものは受け付けません。③原稿は用紙 2 枚以内 (図表写真をふくめて約 2 600 字) に明瞭に墨書すること。④印刷はオフセットによるので写真も入れられます。⑤原稿の書き方は用紙とともに送付します。
- 〔付 記〕：日本学術会議力学研究連絡委員会からのお知らせ ①日本学術会議力学研究連絡委員会は、本講演会の欧文論文集をつぎの要領で刊行の予定です。②欧文論文集に掲載される論文は、論文抄録集の原稿が提出されてから 10 月 31 日までに力学研究連絡委員会から執筆を依頼いたします。③上記の欧文論文集の論文原稿は 11 月 30 日までに幹事学会あて 1 500 円を添えてご送付下さい。④執筆者には欧文論文集 1 部および別刷 50 部を贈呈します。⑤執筆要領用紙などについては追って力学研究連絡委員会から連絡します。

第 7 回材料試験連合講演会講演募集要項

- 共 催：日本学術会議材料試験研究連絡委員会、化学工学協会、金属表面技術協会、※高分子学会、造船協会、※土木学会、日本鋳物協会、日本化学会、日本機械学会、日本金属学会、日本建築学会、日本航空学会、※日本材料学会 (旧日本材料試験協会)、※日本セメント技術協会、日本鉄鋼協会、※日本非破壊検査協会、日本木材学会、溶接学会、窯業協会 (※印は幹事)
1. 日 時：1963 年 10 月 10 日 (木)、11 日 (金) の両日
 2. 会 場：日本学術会議

3. 講演申込: ①参加学会所属の会員は当該学会を通じて申込み, 参加学会会員以外の方は直接幹事学会に申込みこと。②講演内容はすでに発表されたものでも差しつかえないが, 最近の研究に属するものが望ましい。なお, 研究内容は材料の諸物性, 諸性質の測定および試験, ならびに材料の適切な使用に関する研究を包含する。③講演時間は約20分(討論をふくむ)の予定。④講演の採択などは材料試験連合講演会運営委員会に一任されたい。⑤申込用紙はB5版とし, つぎの事項を必ず記載すること a. 講演題目・b. 梗概約200字・c. 講演部門名・d. 講演ならびに連名者の各氏名, 勤務先, 通信先, 学会員資格, 年齢(連名の場合には登壇者に○印をつけること)・e. 講演題目, 氏名, 勤務先には英文を付記すること・f. スライド使用の有無(大きさは35mm)・g. 欧文論文集(付記参照)へ投稿希望の有無。

注: 第I部 金属材料 第II部 非金属材料(有機物, 無機物) 第III部 一般(材料試験機その他)

申込締切: 1963年7月15日(月)

講演前刷: 聴講者のテキストとし, あわせて講演時間の短縮, 掛図などの節約のため, 講演者全部の講演前刷を作るので, 講演者は前刷原稿を必ず期日までに所属学会へ(参加学会会員以外の方は申込んだ幹事学会へ)提出すること。
a. 講演前刷原稿提出期日 8月15日(木) b. 前刷原稿は規定の原稿用紙2枚以内(図表, 写真をふくめて邦文で約2600字)に明瞭に墨書し, なるべく余白を避けるよう留意のこと(講演前刷はオフセットになるので写真も入れることができる) c. 所定原稿用紙は講演申込者に所属学会から送り, 所定用紙以外の用紙に書いた原稿は受付けない。

[付 記]: 発表論文は Proceedings of the Seventh Japan Congress on Testing Materials にのせ, 諸外国にも頒布の予定である。本論文集に登載される論文は今回発表されたもので, 欧文で未発表のものに限る。投稿希望者には別に送られる規定原稿用紙に執筆し, 9月28日(土)までにあらかじめ提出すること。当日以降の提出原稿は受理しない。また, 不備な原稿は返却することがある。

イギリス水理研究所 (Hydraulics Research Station) における 海外技術者のためのコース開催について

イギリスの Wallingford にある水理研究所においては, 下記の要領により, 海外技術者のための水理学コースを開くことになりました。関心のある方は, 直接に下記へご連絡下さい。

1. 連絡場所: Director, Hydraulics Research Station, Wallingford, Berks, England
2. 期 間: 1963年6月10日からの週
3. 会 費: £15, ただし食費, 住居費は除く
4. 申込期限: 1963年5月13日, 申込書は1. 連絡場所に請求のこと
5. 収容定員: 22名とし, 申込者多数の場合は Director が選択する。
6. 項 目: Hydrology of floods. Flow measurement. Water and Sediment sampling. Flow in pipes and in channels with fixed boundaries. Characteristics of non-tidal rivers and canals. Characteristics of tidal rivers and estuaries. River training and flood control. Hydraulic structures. Special problems in rivers, canals and estuaries. Wave action: harbors and breakwaters, ranging, ship-mooring problems. Coastal hydraulics: beach erosion, measurement of littoral drift, defence works.

国 際 水 工 学 コ ー ス (International Course in Hydraulic Engineering)

第7回国際水工学コースはオランダのデルフにおいて1963年10月17日より1964年9月11日まで開催される予定であります。これはオランダ国際協力大学財団(NUFFIC)と共同でデルフト工科大学によって組織されたもので, 土木工学および水工学の大学卒業生で実地の試験を持つ人を対象とし, 講義指導は英語で行なわれます。項目は

- | | |
|---|---|
| a) Tidal and coastal engineering (including harbours) | d) Theoretical and experimental hydraulics. |
| b) Reclamation (including ground-water recovery) | e) Foundation engineering. |
| c) Rivers and navigations works. | f) hydrology. |

このうち一項目だけを選択することができます。またコースは講義、集団討議、工事現場見学と、参加者の自国での将来の仕事に関する個人的研究や実地の仕事に従事する期間とからなっています。課程終了後十分な成果を収めたと認められる者には水工学資格免許状が授与されます。デルフト水理実験所所長 J. Th. Thijssse 教授がこのコースの最高顧問です。

参加希望者は規定の申込書に所要事項を明瞭に記入し1963年8月1日までに提出すること。この申込書により選考を行ない、結果は数週間以内に本人に通知されます。同時に身体検査証および授業料納入方法に関する書類が送付されるのでこれらの手続きをする必要があります。授業料は2000 Dutch guilders (約19万円)で1963年8月31日以前に納入すること。

なお参考までに滞在中の所要経費をあげればつぎのとおりです。

食住費および健康傷害保険その他 1カ月約 450 Dutch guilders (約4万5000円)

テキスト 1部 75 Dutch guilders 以内

見学会費 約 350 Dutch guilders

課程期間中有利なアルバイトはありません。また帰国旅費についても事前に考慮する必要があります。フェロシップについては日本政府、あるいは日本国内にある Netherlands Diplomatic Representative に問い合わせして下さい。

またこの期間にデルフトにおいて第4回衛生工学コース (European Course in Sanitary Engineering) が開催されます。このコースは、ヨーロッパ諸国の技術者を対象としたものですが、その他の国のものも応募することができます。期間は1963年10月21日より1964年7月16日(公式には9月11日)までで、授業料は2000 Dutch guilders です。

さらに詳細は下記に問い合わせして下さい。

東京都新宿区四谷1丁目 土木学会 Tel (351) 5138

NUFFIC, 27 Molenstraat, The Hague, Netherland

第19回関東地区学生諸君のための映画会

定例による建設技術フィルム ライブラリーと共催の第19回関東地区学生諸君のための映画会を下記のとおり開催いたしますから多数ご来会下さい。一般会員の方のご来会も歓迎いたします(入場無料)。

1. 開催日時: 1963年5月18日(第3土曜日) 14.30~17.30
2. 会場: 土木学会会議室(東京都新宿区四谷1丁目, 外濠公園入口)
3. 講演: 土木の学生の見たアフリカ大陸(8mm およびスライド) 東京大学土木工学科学生 鈴木博明氏
4. 上映映画: ①北陸トンネル, ②黒部峡谷, ③トンネルのしくみ

日本工学会講演会・見学会参加者募集

日本工学会では下記のとおり講演と見学の会を催しますので、多数ご参加下さるようご案内いたします。

- 日時: 1963年5月18日(土) 14.00~16.30
- 講演: 電子計算機とその応用 電気試験所原子計算機部長 和田 弘氏
- 映画: 電子計算機を解剖する(約15分)
- 見学: 会場備付の各種電子計算機の使用状況を見学
- 会場: 日本電子工業振興協会会議室(東京都港区西久保巴町35)(都電西久保巴車下車 ゴルフクラブの方へ約3分)
- 定員: 70名・申込先着順に参加証をお送りします。
- 申込: 官製はがきに、住所(連絡先)、氏名、所属学会名を記入し5月10日必着として日本工学会(東京都千代田区神田佐久間町1-11 造船協会内 電話(251)4358)あて申込んで下さい。
- 付記: これは単なる電子回路の説明でなく、実用的にどのように利用されるか、株券の整理、切符の整理、座席予約等多方面に活発に動いている計算機の応用面にスポットをあて利用面について解説していただく予定です。

技術士本試験の実施について

昭和38年度技術士本試験の施行要項が4月5日付官報で公告されましたのでお知らせいたします。

受験資格: 大学・高専(理科系統)の卒業者またはこれと同等以上の者で科学技術に関する実務経験が7年以上の者

筆記試験: 1963年9月8日(日) 口頭試験: 1963年10月15日(火)~22日(火)

試験地: 筆記試験・東京都 明治大学(東京都千代田区神田駿河台1の1)

大阪市 関西大学天六分校(大阪市大淀区長柄中通2)

口頭試験・社団法人発明協会発明会館(東京都港区芝西久保明舟町17)

申込締切: 1963年5月1日~20日まで(郵送の場合は5月20日までの消印があるものは有効)

その他: 受験申込書用紙・その他必要書類は返送料をそえて送付先を明記し下記へご連絡下さい。

東京都千代田区霞ヶ関3の4 科学技術庁振興局振興課 電話(581)5271